

## 注目の東南アジア若手詩人による鼎談イベントを開催 ～ 日常と記憶から紡ぎだされることばたち～

国際交流基金（JF）は、2024年10月31日（木）に、インドネシアのトバ・バタック族の詩人・作家ノーマン・エリクソン・パサリブ氏、フィリピンの詩人パオロ・ティアウサス氏、文芸翻訳家の藤井光さんによるトークセッション「遊ぶことば、内省のまなざし ～東南アジアの詩人たち」を開催します。文芸を通じた多様な文化・価値観の理解促進をめざす「文芸対話プロジェクト“YOMU”（よむ）」の一環として実施する事業です。

ノーマン・エリクソン・パサリブ氏は、インドネシアにおいて複数のマイノリティ性——民族的、宗教的、性的、階級的——を生きる複雑さを、深い洞察力とウィットに富む筆致で描きだします。2022年に短篇集 *Happy Stories, Mostly* で国際ブッカー賞にノミネートされるなど、インドネシアのクア文学を代表する文学者として注目を集めています。「フィリピンのピューリッツァー賞」とも称されるカルロス・パランカ記念文学賞を受賞したパオロ・ティアウサスさんは、フィリピン社会に深く根差す「男性性」の暴力性について、詩作を通して探究し続けてきました。その批判のまなざしは、ほかならぬ作家自身にも向けられています。

本鼎談では、現代英語圏文学の翻訳を広く手がける藤井光東京大学文学部准教授とともに、歴史、伝統、共同体、宗教、そしてアイデンティティが複雑に交差する日常と記憶から紡ぎだされる物語とことばについて、語り合います。

### 記

事業名称：「遊ぶことば、内省のまなざし ～東南アジアの詩人たち」  
主催：国際交流基金（JF）  
開催日時：2024年10月31日（木）15時～17時  
会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール  
使用言語：日本語・英語（※同時通訳有り）

※下記ウェブサイトよりお申込みください。



### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金広報部（広報担当：熊倉、小堤）  
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044  
E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

## 【登壇者略歴】



ノーマン・エリクソン・パサリブ Norman Erikson Pasaribu

インドネシアの少数民族トバ・バタックの詩人・作家。初の詩集 *Sergius Mencari Bacchus* [セルギウスはバッカスを求める] は 2015 年ジャカルタ芸術委員会詩集原稿コンテストで最優秀賞、2017 年東南アジア文学評議会若手作家賞を受賞。国際的に高い評価を得た短篇集 *Happy Stories, Mostly* (英訳: ティファニー・ツァオ) は、2022 年に英国とアイルランドの小規模出版社を対象とする文学賞 (Republic of Consciousness Prize for Small Presses) を受賞したほか、同年に国際ブッカー賞、2023 年に全米批評家協会賞翻訳部門、アメリカ文芸翻訳家協会散文部門賞、米国の独立系出版社が主催する翻訳文学賞 (Cercador Prize) にノミネートされた。パトリシア・カイルス国際ライティング・フェローシップ (2022)、ハーバード大学アジアセンター・アーティスト・イン・レジデンス (2023-2024) に参加。北スマトラ地方トバ・バタック族 Siraja Bondar の第 16 代子孫。



パオロ・ティアウサス Paolo Tiasas

フィリピンの詩人、パフォーマー。著書に、第 22 回マドリガル・ゴンザレス最優秀デビュー作品賞の最終候補作となった *Lahat ng Nag-aangas ay Inaagnas* (2020) [すべての男の結末]、*Tuwing Nag-iisa sa Mapa ng Buntong-hininga* (2021) [ため息の地図の中で孤独になったとき] (フィリピン大学出版)。それぞれ第 39 回、第 40 回のフィリピン図書賞にノミネートされ、後者は第 40 回最優秀フィリピン語詩集部門賞を受賞。2021 年フィリピン語委員会より「今年の詩人」に選出。フィリピン文学界最高の栄誉と言われるカルロス・パランカ記念文学賞受賞。詩人のニカイ・パレデスと共同で、フィリピンの詩人を対象とした年 2 回発行のオンライン・ジャーナル、TLDTD (tldtd.org) を創刊、運営している。



藤井光 Fujii Hikaru (モデレーター)

1980 年大阪生まれ。東京大学文学部准教授。研究者としての専門は現代アメリカ文学・現代英語圏文学。著書に『ターミナルから荒地へ「アメリカ」なき時代のアメリカ 文学』など。翻訳者として、戦争小説と移民の小説を多く手がける。訳書にアンソニー・ドーア『すべての見えない光』、サルバドル・プラセンシア『紙の民』、モーシン・ハミッド『西への出口』、コルソン・ホワイトヘッド『ニッケル・ボーイズ』、リン・マー『断絶』、アルフィアン・サアット『マレー素描集』、C・パム・ジャン『その丘が黄金ならば』、ジーナ・アポストル『反乱者』など。

以上

## この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金広報部 (広報担当：熊倉、小堤)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)